

日本語ボランティア養成講座 受講生を募集します★

初心者
向け！

外国語の
スキル不要！

今年はボランティア教室を立ち上げ時のポイントもプラスで学べ、講座終了後の活動の選択肢増！

ボランティア教室に所属する？新たに教室を立ち上げる？



日本語ボランティアとは？

外国人が、**日本語の習得**をするときの**サポート**をします。
教室は、日本語の学びや会話ができる場所、そして、みんなの居場所にもなる**大切な場所**です。

あなたも講座でボランティアとしての心構えや、日本語学習を支援するためのスキルを学びませんか？

【会 場】 墨田区役所内会議室
【対 象】 墨田区在住在勤在学で18歳以上
【定 員】 25名（事前申込み制/書類選考）
【受講料】 無料 ※教材費別途要

本講座で購入する場合は2,640円(税込)



講師：有田 玲子
(日本語教育アドバイザー)

日時・応募方法・カリキュラムは裏面をご覧ください!!

(主催・問合せ先)

墨田区地域力支援部文化芸術振興課 都市交流・国際担当 〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20

電 話：03-5608-1459 FAX：03-5608-6934 メール：BUNKASHINKOU@city.sumida.lg.jp

応募方法

令和7年9月1日（月）～9月12日（金）の期間に下記専用フォームからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/DnDq/638241>

専用フォームから申し込みが難しい方は、応募票に必要事項を記載のうえで、以下の方法で御提出ください。

E mail / BUNKASHINKOU@city.sumida.lg.jp FAX / 5608-6934

ご持参・郵送/〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 墨田区役所14階
文化芸術振興課 都市交流・国際担当

※持参の場合 平日：午前8時半～午後5時が受付時間

郵送の場合 9月12日（金）必着

応募票は、区HPからダウンロードするか、墨田区役所14階文化芸術振興課にて配布。

カリキュラム【全9回】

時間：午前9時30分～午前11時30分

日程	テーマ	内容・目的
第1回 10/7 (火)	生活者のための「日本語」と、 日本語ボランティアの役割	「生活者」としての外国人を知る 多様な背景を持つ在住外国人について目を向けます。活動の際の心構えや支援の方法を考えます。墨田区に住む外国人の話を聞き、ボランティア活動の具体的なイメージを持ちます。
第2回 10/14 (火)	外国語としての「日本語」① ～文の構造と文法 (助詞・形容詞)～	「日本語」の基本的な知識を助詞・形容詞を中心に学ぶ 日本語の習得を支援するとき、知っていると役に立つ基本的な助詞や形容詞の知識を、テキストの該当箇所を確認しながら学びます。
第3回 10/17 (金)	外国語としての「日本語」② ～文の構造と文法(動詞)～	「日本語」の基本的な知識を動詞を中心に学ぶ 学習者がはじめにつまずくポイントは「動詞」の活用です。日本語の習得を支援するとき、知っていると役に立つ基本的な動詞の知識を学びます。
第4回 10/21 (火)	外国人に伝わる「日本語」 ～〈やさしい日本語〉～	〈やさしい日本語〉学習者と外国人に「日本語」で伝える練習 自分の話す日本語を見直し、実践を通して〈やさしい日本語〉を身近にします。そして、実際に外国人に伝える練習をします。
第5回 10/24 (金)	外国語としての「日本語」③ ～発音と文字、語彙～	「日本語」の発音、文字、語彙を学ぶ テキストの「文字学習」のページに触れながら、日本語の習得を支援するとき、知っていると役に立つ基本的な発音、文字、語彙について学びます。
第6回 10/28 (火)	テキストの選び方、使い方	タイプの異なるテキストを知る テキストの教室での使い方を学びます。また、地域の日本語ボランティアにも使いやすいテキストを紹介します。
第7回 11/4 (火)	身近な素材を使った 日本語学習・教室活動	生活のなかにあるものを教材として使う練習と、教室活動を円滑にする工夫 生活の場面や、スーパーのちらし、レシートなどを素材に、生活者としての「日本語」の学習を支援する練習をします。
第8回 11/7 (金)	オンラインでの日本語学習支援、 ボランティア活動の具体的な イメージを持つ	オンラインでの日本語学習支援 区内の日本語ボランティア教室の紹介 オンラインでも使える教材を紹介します。 区内の日本語ボランティア教室を紹介し、実際に活動している人から話を聞きます。
第9回 11/11 (火)	日本語ボランティア教室を 立ち上げるための準備をしよう	教室立ち上げのポイント 日本語教室を作るために、必要なことはいくつかあります。講座で学びながら、どんな教室を作りたいかを考えます。一歩を踏み出すきっかけにしてください。